

平成 29 年度 文部科学省委託事業
人口減少社会における ICT の活用による
教育の質の維持向上に係る実証事業

平成29年度高森町研究発表会 研究紀要

研究主題

主体的・対話的で深い学びを生み出す
学習指導の工夫

～ 21世紀にふさわしいICT環境を生かした課題解決型授業をとおして～



高森町の教育ビジョン

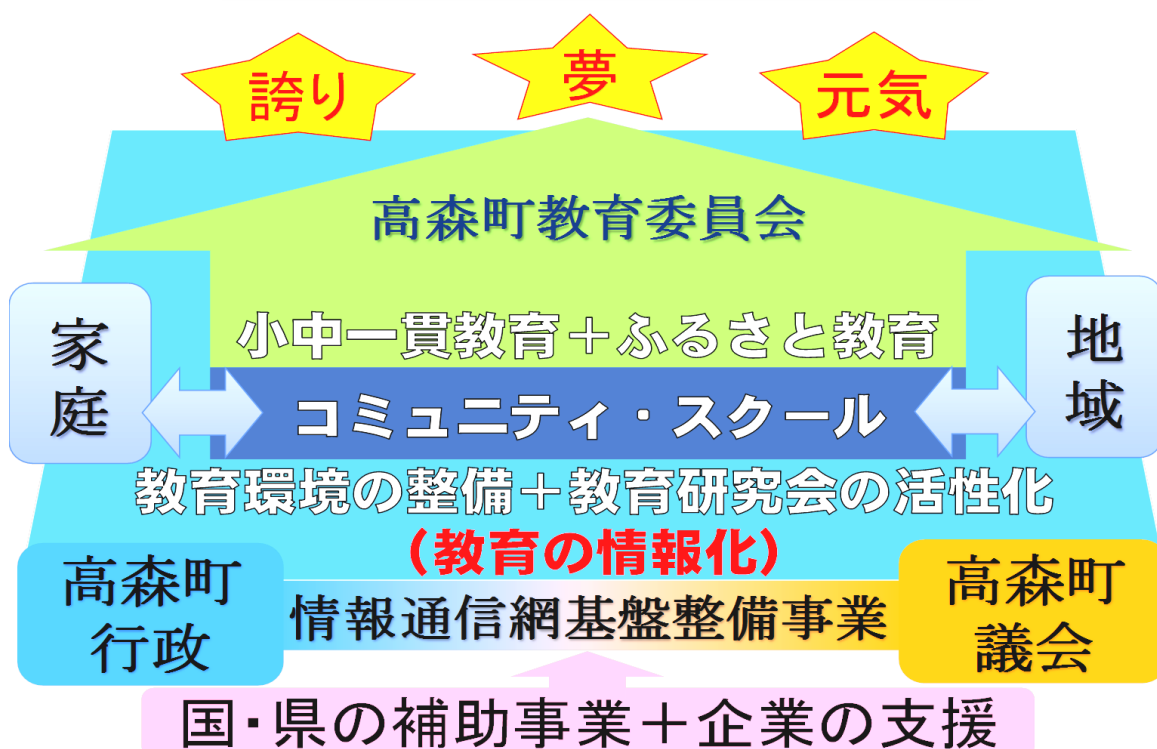
「高森町新教育プラン」の推進

町の戦略

- 1 町をあげて
 - (1) 人・もの・金のマネジメント・・・町長の政策
 - (2) 町づくりは人づくり、人づくりは町づくり
 - (3) 町議会の支援を得る
- 2 風に乗る
 - (1) 風を読む、風をつかむ、そして、風に乗る
 - (2) スピード感を持って
 - (3) 中途半端でなく、徹底して
- 3 国や県の動向を見据える
 - (1) 国の施策に乗る
 - (2) 県の施策に乗る
 - (3) 地方分権・規制緩和の波に乗る

キーワード

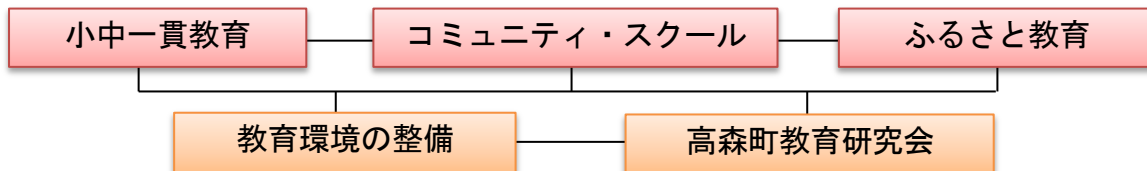
- ・ 教育の本流をいく
- ・ ローカルオプティマム



熊本県高森町新教育プラン(第2次概要)

高森に誇りを持ち、夢を抱き、元気の出る教育

- 1 高森の子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」を醸成する。
- 2 高森の地域力を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- 3 高森町行政と連携した「教育環境の整備」を推進する。
- 4 高森町教職員の資質を高める「高森町教育研究会の活性化」を図る。



重点施策：コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育

1 コミュニティ・スクールの導入

- (1) 研究推進・・・文部科学省委託事業（H24年度・H25年度・H26年度）
- (2) 指定・・・H26年4月1日（学校運営協議会の設置）
 - ① 高森東学園学校運営協議会（高森東中学校区）
 - ② 高森中央学園学校運営協議会（高森中学校区）
- (3) H27年度からの文部科学省委託事業
「首長部局との協働による新たな学校モデル構築事業」

2 小中一貫教育の導入

- (1) 小中兼務辞令（県教委：H24年度～）・・・高森東学園・高森中央学園構想
- (2) 小学校からの英語教育導入による英語教育の強化
 - ① 「わくわくイングリッシュ」の創設・・・文科省教育課程特例校（H25年度）
 - ② 小中学校9ヵ年の英語教育の体系化
- (3) 小中一貫教育カリキュラムの研究
 - ① 各教科・領域における小中の接続及び中1ギャップの解消
- (4) H27年度からの文部科学省委託事業
「英語教育強化地域拠点事業」・・・町内4校、文部科学省研究開発学校指定

3 ふるさと教育の推進

- (1) 「高森ふるさと学」の創設・・・文部科学省教育課程特例校（H25年度～）
- (2) 「私たちの高森町」の作成（H24年度）・・・小学校社会科副読本
- (3) 「高森の心」の作成（H25・26年度）・・・小中学校道徳教育副読本
- (4) 教育指導員の配置（H24年度～）

4 教育環境の整備

- (1) ICT環境の整備
 - ① 電子黒板の導入（46台）・・・全小中学校普通教室27台（H24年度）特別支援学級4台（H28年度）特別教室12台（H25年度5台・H28年度7台）体育館等3台（H28年度）
 - ② デジタル教科書の導入・・・全小中学校各教科（H24年度）
 - ③ タブレットPCの導入（390台）・・・全小中学校120台（H25年度・企業より寄贈）全小中学校270台（H26年度・内30台企業より寄贈）
 - ④ 校務支援システム「ゆうnet」（県教委）の導入・・・全小中学校（H24年度）
 - ⑤ 教務支援システムの導入・・・全小中学校（H24年度）
 - ⑥ 学校図書館管理システムの導入・・・全小中学校（H23年度）
 - ⑦ 学校CMS（県教委）の導入・・・全小中学校（H25年度）
 - ⑧ 教育CIOの導入・・・教委に現職教員を補佐官（審議員）で配置（H26年度～）
- (2) 町費負担教職員の配置
 - ① 高森東小学校複式学級の解消（H24年度～）
 - ② 高森中央小学校35人学級の導入（H25年度～）高森中学校35人学級の導入（H28年度～）
- (3) 教育相談・子育て支援の充実
 - ① 特別支援教育相談員の配置（H24年度～）
- (4) H27年度からの文部科学省委託事業
「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業」

5 高森町教育研究会の活性化

- (1) 校長を中心とした教職員の資質の向上
- (2) 高森町新教育プランの推進

（H24年3月策定：28年9月現在）

研究の構想

確かな学力と豊かな心を身につけた
高森の子どもの育成

研究主題

主体的・対話的で深い学びを生み出す 学習指導の工夫

～21世紀にふさわしいICT環境を生かした課題解決型授業をとおして～

課題解決学習のモデル化「たかもり学習」

たしかにつかむ

導入

教材との出会い
課題把握

かんがえる

展開 前段

一人学び
個人思考

もっとふかめる

展開 後段

協働的な学び
集団思考

ふりかえる

終末

理解・定着
次時への発展

視点1 学習課題および提示の工夫

●深い学びにつなげる学習課題の工夫

- ◆地域のことを伝える発信型学習課題の設定
- ◆教科の特性に応じた効果的な課題設定
- ◆他教科と連動した学習課題の設定

●課題提示の工夫

- ◆デジタル教科書の拡大機能を生かした課題提示
- ◆自分たちの活動の様子を活用した課題提示
- ◆多面的な考えを生み出すための課題設定

視点2 個に応じた指導の工夫

●個人思考の確保と充実

- ◆試行錯誤を促す ICT 活用
- ◆資料を分析し個の考えを深める
- ◆多様な考え方を生み出すための支援

●授業と家庭学習の連動

- ◆教室と学校外をつなぐタブレット端末
- ◆学習者用デジタルコンテンツを活用した個人思考
- ◆学びを共有し興味関心を高める資料作成

視点3 対話的な学びの推進

●思考・表現ツールを用いた思考の深化

- ◆思考・表現ツールを活用した文の構成
- ◆対話的な学びを生み出す思考・表現ツールの活用
- ◆思考・表現ツールの活用による要点の整理・統合

●対話的な学びを生み出す遠隔学習

- ◆グループの複数設定による対話的な学びの実現
- ◆小規模校の対話的な学びを充実させる遠隔授業
- ◆遠隔授業における課題別グループによる協働学習

視点4 新たな学びへの対応

●コミュニケーション力の育成

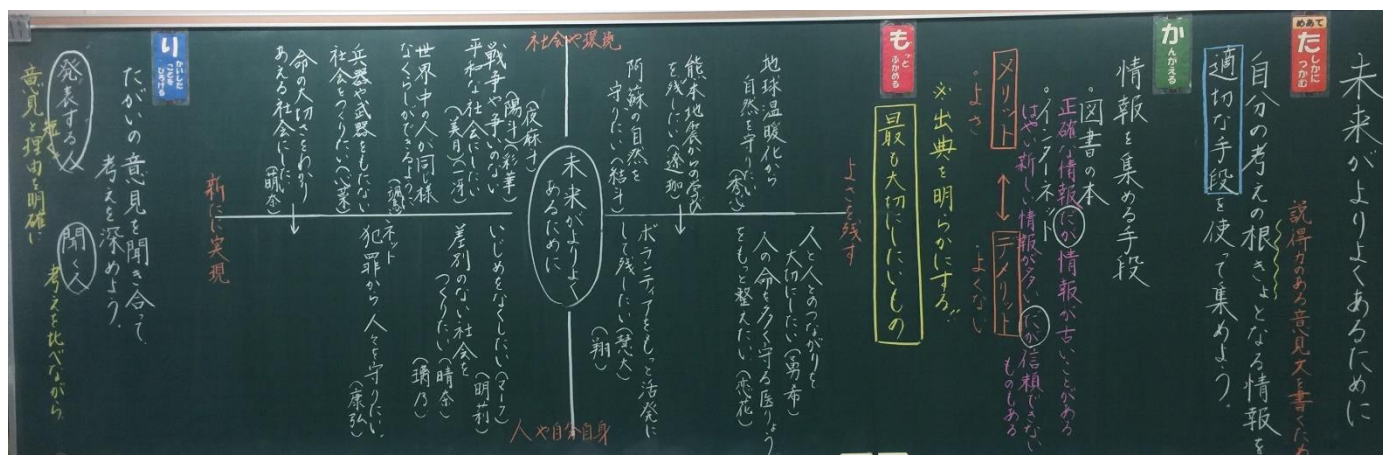
- ◆Web 共有ボードを活用した地域間交流
- ◆学んだ内容をまとめて家族に説明する活動
- ◆地域の方へのプレゼンテーション及びインタビュー活動

●プログラミング教育の推進

- ◆プログラミング的思考を深めるための課題設定
- ◆個人とグループを意識したカリキュラム編成
- ◆プログラムの作成・改善におけるデジタルコンテンツの活用

課題解決学習のモデル化「たかもり学習」

- ◆単位時間における学習過程の構造化
- ◆教師と児童生徒の日常的な授業の振り返り
- ◆構造的な板書で児童・生徒の思考や内容理解を深める



◆授業チェックリストの開発・活用

学習過程		生徒の皆さんが心がけること	先生方が気をつけていること
導入 5分	た しかに つかもう 今日のめあて	◎この時間の「めあて」を確実につかみましょう。 ☐ 本時のめあてをきちんとノートなどに書きましたか。 ☐ 50分間の学習の見通しは持てましたか。	☐ ゴール（目標を達成した姿）が見える「めあて」の工夫 ☐ 前時を生かし、興味・関心を高める工夫 ☐ 学習の見通しを持たせる工夫
展開 15分	か んがえよ うまずは自分で	◎自分の力で課題や問題に取り組みましょう。 ☐ 自分の考えは持てましたか。 ☐ 分からないことなどは先生に質問しましたか。	☐ 一度で分かる発問・指示 ☐ 一人一人の学習状況を把握する机間指導
展開 20分	も っと 深めよう 仲間とともに	◎学び合う中で自分の意見や考えを深めたり、広げたりしましょう。 ☐ 相手や場を意識して発表したり、聞いたりできましたか。（返事、声の大きさ、目線、表情、拍手） ☐ 意見の出し合いだけに終わらず、自分の考えは深まりましたか。	☐ 展開に応じた効果的な学習形態と指導方法 ☐ 新たな気づきや多様な考えを引き出す工夫 ☐ 構造的な板書 ☐ ねらいの達成を確実にみとる精度の高い評価
整理 10分	り 返ろう 今日の学びを	◎学んだことを「めあて」にそって振り返り、まとめましょう。 ☐ 新しい気づきはありましたか。 ☐ 「分かった」「できた」という気持ちになりましたか。	☐ 「めあて」に即した振り返りと時間の確保 ☐ 次時につながる教師のまとめ ☐ 本時の学びとリンクした家庭学習への支援